



スポーツ通じた交流楽しむ

老 人クラブ連合会主催の「老人クラブ体育レクリエーション大会」が、9月7日（金）にクロスカルチャープラザ多目的コートで開催されました。この大会は、スポーツを通じて健康の増進を図り、人と人とのふれあいの輪を広げようと、毎年開催されています。

約400名の参加者は、ワナゲや地区対抗のグラウンドゴルフフリレー、まり入れなどの競技や花笠踊りなどを通して交流の輪を広げていました。また、大石田保育園の園児による鼓笛隊演奏の披露も行われ、会場を盛り上げていました。

自慢のペそら漬に

大 石田町発祥のペそら漬を受け継ぎ、特産品として町内外に発信することを目的とした「我が家自慢のペそら漬コンテスト」が8月29日（水）に役場大会議室で行われました。

コンテストには17の家庭のペそら漬が出品され、漬け物店やそば店の店主など審査員11名が色や辛味や塩気、噛み応えなどを審査し、「辛い！」と汗をかきながら、ひとつひとつを味わって点数をつけていました。入賞したペそら漬は10月27日（土）28日（日）に行われる新そばまつりで味見することができます。



第7回 我が家自慢のペそら漬コンテスト審査結果

最優秀賞 高橋 進さん（来迎寺）
優秀賞 大山 和子さん（海谷） 鈴木 清子さん（鷹巣）
鈴木 隆行さん（仲通） 星川みつよさん（駒籠）
山科美代子さん（鷹巣） ※優秀賞は50音順

自分の考え、力強く

第 57回山形県少年の主張尾花沢大石田地区大会が9月6日（木）に尾花沢市の福原中学校で開催され、大石田町と尾花沢市の中学生7名が中学生らしい視点で自分の考えを発表しました。

大石田中学校からは笹原美桜さん（3年）と安達涼乃さん（3年）が出場し、堂々とした発表を行いました。笹原さんは「家族」という論題で、安達さんは「私に力をくれたこと」という論題でそれぞれの考えを力強く主張しました。審査の結果、安達さんが優秀賞に入賞し、村山市で行われた最北ブロック大会に出場しました。



安達 涼乃さん



笹原 美桜さん

角二山遺跡発掘状況を報告

角 二山遺跡発掘調査の現地説明会が9月1日（土）に開催されました。この発掘調査は昨年度から東北大学大学院文学研究科考古学研究室が行っています。説明会では、昨年出土した細石器刃（狩猟の道具）をはじめとした石器類や、今回出土したばかりの黒曜石の石器も展示されました。

鹿又吉隆准教授は、近年の研究により角二山遺跡の黒曜石は北海道産であることが判明しており、今回の一連の調査でそれがいつ頃のことだったのかを明らかにできるのではないかと期待を示しました。来場者からは北海道との物流はあったのか、狩猟は何を獲っていたのかなど、活発な質疑応答が交わされました。



民謡・民舞で地域交流

3 地域の民謡団体による合同の発表会「地域交流民謡のつどい in おーいしだ」が、9月9日（日）に虹のプラザ多目的ホールで開催されました。これは大石田町民謡研究会（木村和夫会長）と、日ごろから交流のある宮城県涌谷町の民謡香湧会（今野香湧会主）、西川町の民謡輝秀会（福島輝秀会主）の共催で開かれたもので、涌谷町の民謡「秋の山唄」をテーマにした民謡教室、結婚披露宴を模したステージでの「山形大黒舞」や「やすとこ」など、唄や踊りが次々と披露されました。会場には約280名が詰めかけ、趣向を凝らしたステージに盛んな拍手が送られていました。



消防操法の正確さ競う

平 成30年度山形県消防協会北村山支部操法大会が、東根市の東根市民体育館駐車場で9月9日（日）に開催されました。大会には北村山3市1町の審査会を勝ち抜いた消防団8隊が出場し、ポンプ車の部と小型ポンプの部それぞれでポンプの取扱いや放水作業の正確さを競いました。

大石田町からは、小型ポンプの部に第4分団第2部第3班（次年子）、ポンプ車の部に第4分団第1部第1班（豊田）がそれぞれ出場しました。結果は2隊ともに第3位で、総合の部でも大石田町消防団が第3位となりました。

